

岩木憩の家に関する報告



日本筋ジストロフィー協会 青森県支部 支部長
岩木憩の家友の会 会長 中山 博秀

1. 岩木憩の家 施設概要



- ☆ 宿泊室
 - ・和洋室(畳&ベット) … 1室 (1~3人用)
 - ・和室 (8畳) … 2室 (1~2人用)
- ※ 食事の提供はありませんが、調理設備は整っています
- ☆ 会議室・応接室
 - ・会議室(50~60名) … 講演会や会議、その他
いろいろな行事、イベントにご利用下さい。
 - ・応接室(数名) … 打合わせ、休憩にご利用下さい。

※ 岩木憩の家の案内パンフレット抜粋

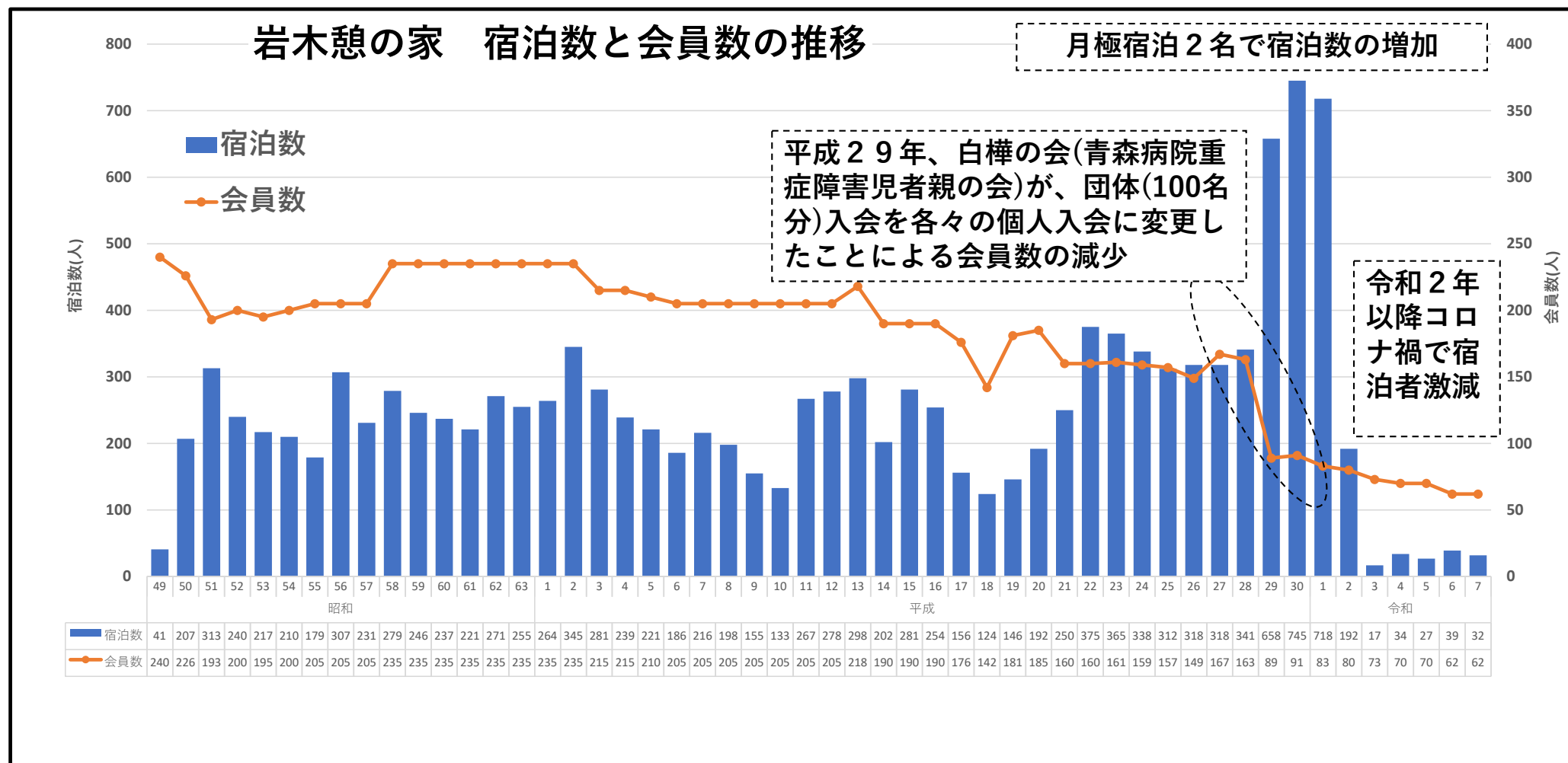


2. 岩木憩の家の歩みと、宿泊数と会員数推移

昭和49年12月から日本筋ジストロフィー協会の社会訓練施設を、岩木憩の家として運用を開始しました。

筋ジスのみならず、国立青森病院に入院・入所している患者や家族の休息・宿泊や研修・集会に、また病院職員やボランティアの集いの場として50年以上利用されてきました。

近年、老朽化とコロナ禍で利用者が減少し、令和8年度で施設の運用を終了することになりました。



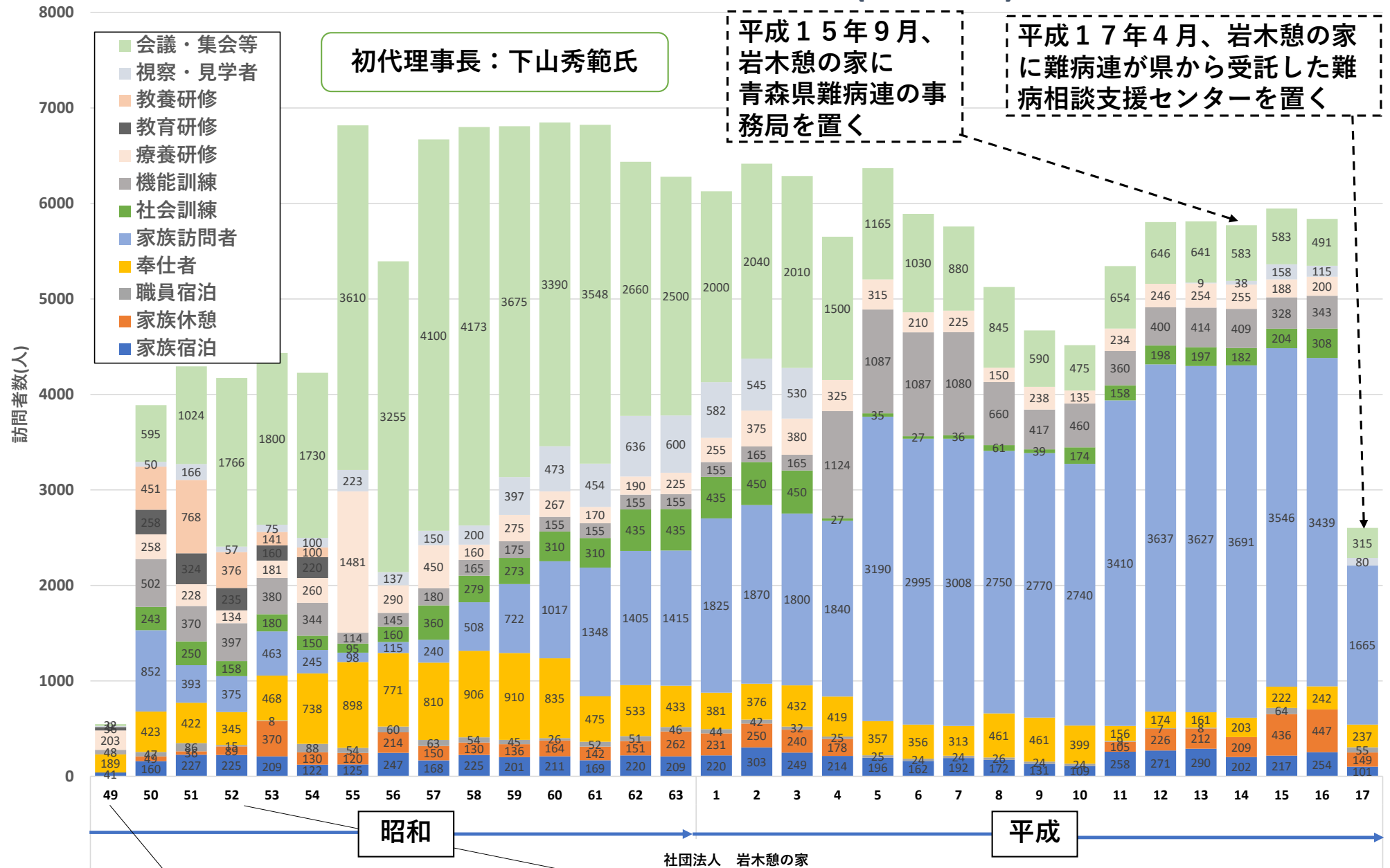
岩木憩の家訪問者推移

【昭和49年度(12～3月)～平成17年度】

初代理事長：下山秀範氏

平成15年9月、
岩木憩の家に
青森県難病連の事
務局を置く

平成17年4月、岩木憩の家
に難病連が県から受託した難
病相談支援センターを置く



昭和49年6月、社団法人岩木憩の家を設立
同年11月、岩木憩の家訓練センター建設
同年12月から施設運用開始

昭和52年、岩木憩の家訓練
センターに会議室を増築

会議・集会。研修・訓練、家族やボ
ランティアの休息、家族や病院職員
の宿泊、等にご利用された

昭和49年6月
社団法人岩木憩の家を設立
同11月
岩木憩の家訓練センター建設
同12月から施設運用開始

昭和52年
岩木憩の家訓練
センターに会議
室を増築



平成元年
「車いす希望の翼ハワ
イの旅」の参加者は岩
木憩の家から出発

平成12年8月
筋ジス東北ブロック青森
大会のねぶた祭り参加
岩木憩の家で実行計画を
検討し準備する

平成14
国立療養
院に筋ジ
南病棟)が



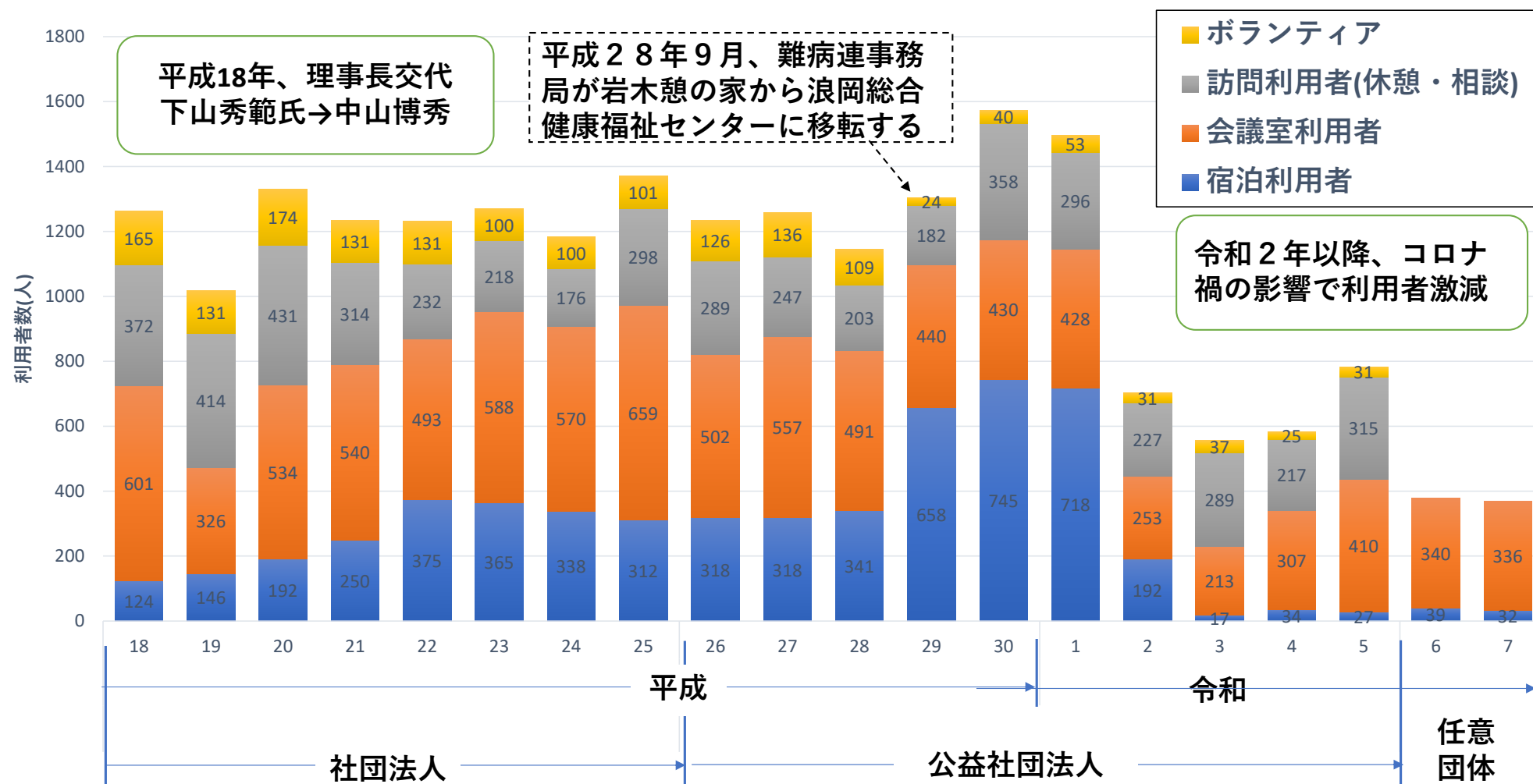
各種の 訓練指導と研修会



ボランティア研修会



岩木憩の家利用者推移 【平成18年度～令和7年度(12月末時点)】



平成25年、公益社団法人への移行あたり、シンポジウム開催

平成26年、社団法人岩木憩の家が公益社団法人岩木憩の家に移行

令和6年、公益社団法人を解散し、任意団体「岩木憩の家友の会」を新設

平成14年6月、国立療養所岩木病院に筋ジス病棟(現南病棟)が新築開棟

平成14年12月、国立療養所岩木病院が統合により国立療養所青森病院となる

平成16年4月、国立療養所青森病院が独立行政法人国立病院機構青森病院となる

平成26年、青森病院中央病棟新築

平成30年、青森病院外来管理診療棟新築

県の補助金打切り

岩木憩の家シンポジウム

「障がいがある人・患者・家族が、あずましく滞在できる施設のつくり方」を
Give kids the world、マクドナルド・ハウス、ファミリーハウスあおもり、に学ぶ



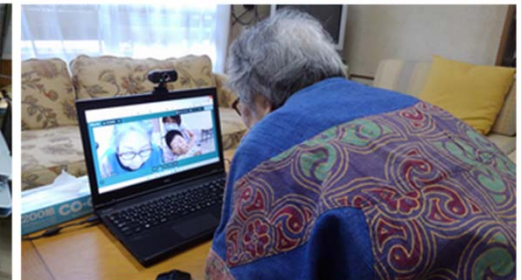
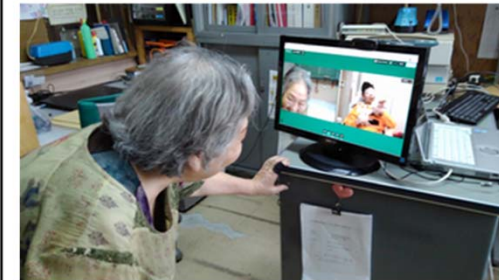
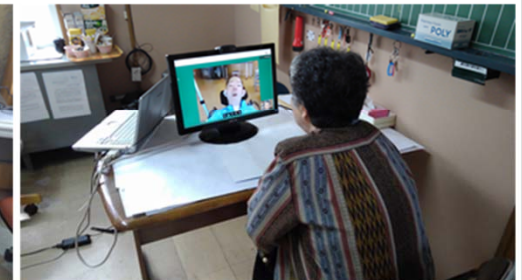
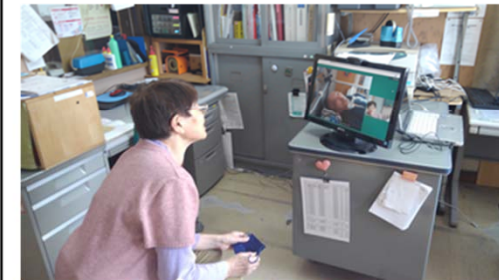
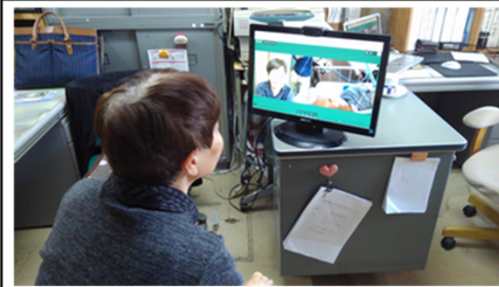
研修会・会議



年2回の草取&昼食会



コロナ禍のオンライン面会と病棟懇談会



3. 岩木憩の家の今後の予定と課題

(1) 令和8年度をもって施設の運用を停止

理由：施設及び設備の老朽化と利用者の減少

(2) 運用停止後の施設は解体することを検討中

課題：解体資金の捻出 … 募金実施中

(3) 岩木憩の家が果たしてきた役割の代替案

① 会議・集会、訓練・研修、休憩の場としての役割

青森病院や花岡プラザ他、周辺施設を利用する

② 宿泊所としての役割

青森病院周辺に安価な宿泊施設がなく、

今のところすぐに使える代替案が無い

4. まとめ

意見交換のテーマ「地域で支える新しい医療と療育」に関連して、岩木憩の家に係わって感じたこと

- (1) 入院・入所者は家族の面会を楽しみにしている。
家族の方もできるだけ面会の機会や時間を多く持ちたいと思っているが、病院との距離やアクセス環境で地域差が生じるので、病院周辺には安価な宿泊施設が必要である。
- (2) 医療や療育に関する新しい知識や情報に対して、患者や家族、関係者が集い研修や訓練できる場や、気軽に語り合える場は、ネット社会になっても重要である。
- (3) 岩木憩の家は半世紀に亘って、患者や家族、医療や教育、福祉等の関係者を繋ぎ、支え合うことに微力ながら尽力してきたが、今後もこれらを新しい形で深化させる仕組みや施設が整っていくことを期待したい。



※ （一社）日本筋ジストロフィー協会では
岩木憩の家の募金活動を行っています。
下記URL、もしくは右記QRコードで
ご確認の上ご協力をお願い致します

<https://www.jmda.or.jp/news/news-jmda-2025020701/index.html>

